

龍谷大学における「仏教 SDGs」を通じた成果と課題（2022 年度）

2023 年 11 月 1 日

龍谷大学では、2020 年度から 2039 年度を計画期間として展開する将来計画「龍谷大学基本構想 400」における将来ビジョンとして、『まごころ～Magokoro～』ある市民を育み、新たな知と価値の創造を図ることで、あらゆる『壁』や『違い』を乗り越え、世界の平和に寄与するプラットフォームとなる」旨を掲げています。これは、まさに、持続可能な社会の実現を希求する計画といえます。

また、浄土真宗の精神を建学の精神とする本学では、阿弥陀仏が「すべての生きとし生けるものを決して見捨てない」と誓われた心（摂取不捨）と、SDGs が掲げる「誰一人取り残さない」という理念とに共通点を見出し、この仏教的な視点を通して大学構成員自らの自省と気づきを促す「仏教 SDGs」を掲げ、SDGs に資する諸事業を様々に展開しています。

これらを踏まえ、龍谷大学ならではのアプローチで SDGs の達成に貢献することを誓い、2022 年 2 月に「龍谷大学 SDGs 宣言」を発出するに至りました。

ここでは「環境」「経済」「社会」及び「パートナーシップ」の 4 つの区分に分類し、2022 年度の主な活動を通じた成果と課題をまとめました。各取組の詳細については「[龍谷大学の SDGs 取組実績](#)」をご参照ください。

龍谷大学基本構想 400 – 2039 年創立 400 周年を超えた未来に向けて –

<https://www.ryukoku.ac.jp/400plan/>

龍谷大学 SDGs 宣言

<https://www.ryukoku.ac.jp/sdgs/about/>

仏教 SDGs について

<https://retaction-ryukoku.com/concept>

龍谷大学の SDGs 取組実績

<https://www.ryukoku.ac.jp/sdgs/goal/>

環境分野



Daigas エナジーと包括連携協定を締結

私たちの「社会」・「経済」は、自然資本の上に成り立っています。このことから、龍谷大学では「環境」を SDGs 達成のための基盤的要素として捉えています。

2022 年 4 月 25 日、本学と環境省が「地域脱炭素の推進に関する協力協定」を締結しました。この協定は地域脱炭素や同省が提唱する「地域循環共生圏」の実現に寄与することがねらいです。多様な主体との協働・共創を軸に、地域脱炭素の実現に向けて必要となる「グリーン人材」の育成を図っていきます。

また、2021 年度に実施し日本初となった学生気候会議を、2022 年 12 月 10 日、17 日の 2 日にわたって実施しました。昨年度、同会議に参加した学生が中心となり立ち上げた学生団体 OCs（オックス）が学生気候会議の運営を行いました。このように、学生を中心に全学的に環境問題に対する関心や対策への機運が高まっています。

2023 年 2 月 24 日、本学と Daigas エナジーが緊密に連携し、エネルギーの利用など広範な分野において協働することにより、龍谷大学と地域の活性化を推進することを目的とする包括連携協定を締結しました。これにより、本学の使用電力エネルギーを 100%再生可能エネルギーへ転換していく道筋が出来るなど、エコキャンパス実現に向けた動きを加速させました。

以 上